

北薩感染症情報

2019年第46週(11月11日～11月17日)

【問い合わせ先】 〒895-0041 薩摩川内市隈之城町228番地1
 北薩地域振興局保健福祉環境部(川薩保健所)健康企画課
 電話 0996-23-3165 FAX 0996-20-2127
 E-メール kita-kenkou-shippei@pref.kagoshima.lg.jp

川薩・出水保健所における定点報告疾患

◎: 警報発令中 ○: 注意報発令中

定点種別	対象疾患	警報レベル		注意報レベル 基準値	川薩保健所管内					出水保健所管内				
		開始基準値	終息基準値		前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報	前週報告数(人)	今週報告数(人)	定点報告数	前週からの増減	警報注意報
内科・小児科 定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	57	36	5.14	↓	-	16	19	3.80	↗	-
小児科定点	RS	-	-	-	1	4	1.00	↗	-	3	-	-	↓	-
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	-	1	3	0.75	↗	-	2	4	1.33	↗	-
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	-	5	11	2.75	↗	-	5	7	2.33	↗	-
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	-	11	9	2.25	↓	-	6	10	3.33	↗	-
	水痘	2.0	1.0	1.0	1	1	0.25	→	-	-	2	0.67	↗	-
	手足口病	5.0	2.0	-	-	5	1.25	↗	-	9	17	5.67	↗	◎
	伝染性紅斑	2.0	1.0	-	15	7	1.75	↓	◎	-	-	-	→	-
	突発性発疹	-	-	-	1	6	1.50	↗	-	3	-	-	↓	-
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	-	8	12	3.00	↗	-	-	-	-	→	-
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	1	-	-	↓	-	-	-	-	→	-
眼科定点	急性出血性結膜炎	1.0	0.1	-	-	-	-	→	-	/	/	/	/	/
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	-	1	1	1.00	→	-	/	/	/	/	/
高齢者定点	細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
	感染性胃腸炎 病原体がロタウイルスに属する	-	-	-	-	-	-	→	-	-	-	-	→	-
インフルエンザ 入院報告	-	-	-	-	-	/	/	-	/	/	/	/	-	
報告数合計		-	-	-	102	95	/	↓	/	44	59	/	↗	/

<注意報・警報>
 ・川薩保健所管内 伝染性紅斑の警報が13週連続継続中。
 ・出水保健所管内 手足口病の警報発令します。

<全数報告>
 ・川薩保健所管内 結核(患者1人)
 ・出水保健所管内 なし

<インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等>
 ・川薩保健所管内 なし
 ・出水保健所管内 なし

(注意) 出水保健所管内で、「手足口病」の報告が定点あたり「5.67」と、2週ぶりに流行発生警報基準「5」を上回りました。今後も感染の予防に努めてください。

(注意報・警報)

○伝染性紅斑について

【警報開始基準値 2.0, 警報終息基準値 1.0】

(第46週は川薩・出水のみ掲載)

第46週の伝染性紅斑の発生状況は、川薩保健所管内からは、7名(定点あたり報告数 1.75)の報告がありました。

13週連続の警報です。引き続き感染の予防をお願いします。

出水保健所管内からは報告がありませんでした。

伝染性紅斑とは、ヒトパルポウイルスB19を病原体とし、幼児、学童の小児を中心にみられる流行性の発疹性疾患です。両頬がリンゴのように赤くなることから「リンゴ病」と呼ばれています。



(注意) 出水保健所管内で「手足口病の警報」が再び発令されました。

○手足口病について

【警報開始基準値 5.0, 警報終息基準値 2.0】

(第46週は川薩・出水のみ掲載)

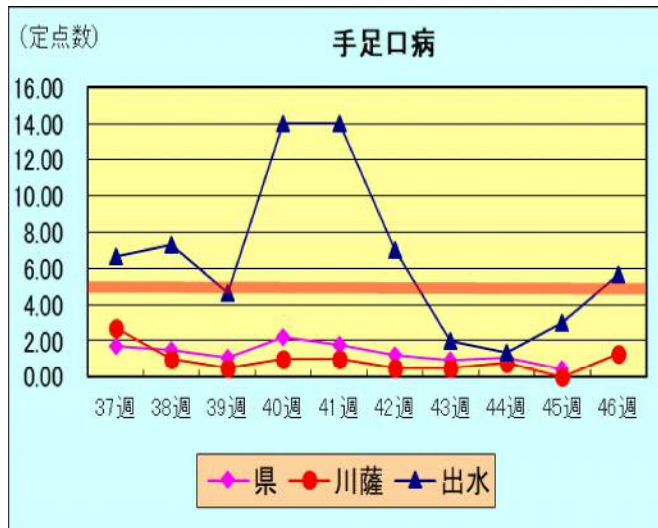
第46週の手足口病の発生状況は、川薩保健所管内からは、5名(定点あたり報告数 1.25)の報告がありました。

出水保健所管内からは、17名(定点あたり報告数 5.67)の報告がありました。

43週以来、2週間ぶりの警報です。引き続き感染の予防をお願いします。

(手足口病とは)

手足口病は、水疱性の発疹を主症状とした急性ウイルス感染症です。



(症状)

3～5日の潜伏期をおいて、口腔粘膜、手掌、足底や足背などに水疱性の発疹が出現します。一般的には、発熱で始まる軽い病気で、ほとんどの人が、1週間から10日程度で自然に治ります。まれに髄膜炎等の中枢神経症状が発生することもあります。

(感染経路)

飛沫感染、便中に排泄されたウイルスによる経口感染、水疱内容物からの感染などがあります。

(予防法)

予防法としては患者に近づかない、手洗いの励行などです。ウイルスは、患者が回復しても2～4週間程度、糞便の中に排出されますので、排便後の手洗いの徹底が大切です。

(注意) 川薩保健所管内は、インフルエンザの報告は2週連続で減少しましたが、今後も引き続き感染の予防に努めてください。

(第46週は川薩・出水のみ掲載)

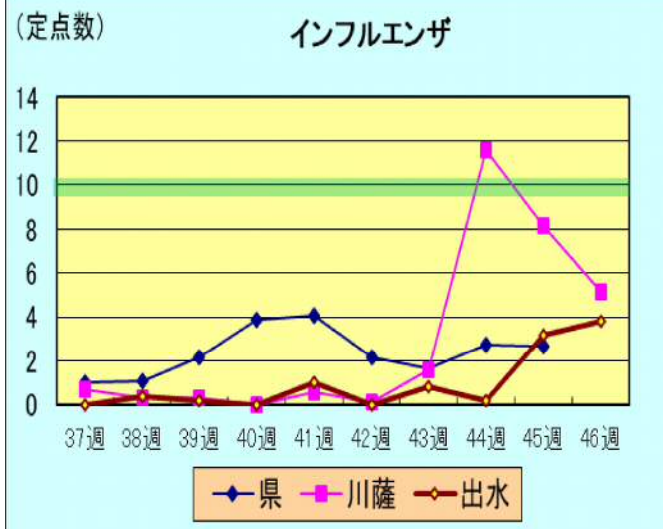
第46週のインフルエンザの発生状況は、川薩保健所からは**36名**(定点あたり報告数**5.14**)の報告がありました。

出水保健所からは19名(定点あたり報告数3.80)であり、2週間連続で増加しております。今後も感染予防に努めてください。

下記の内容を参考に予防に努めてください。

◎ 特徴と対策について

「重症化して合併症を引き起こす、いちばん身近な感染症」



○ インフルエンザの合併症は死に至る場合も

特に高齢者にとって、インフルエンザは大変危険な病気です。抵抗力が弱い高齢者や乳児、持病のある人は、肺炎を併発し、最悪の場合は死に至る場合もあります。

○ インフルエンザの予防法

- ・手洗い、マスク、予防接種
(飛沫感染、接触感染の予防)

○ インフルエンザにかかってしまったら

- ・すみやかに受診
- ・自宅療養の注意点

家族への感染を防ぐため、なるべく家族から離れた個室で療養し、マスク着用、部屋の換気を行うことが重要です。

○ 咳エチケットも「うつさない」「うつらない」ための重要なマナー

咳やくしゃみがでるときには、ティシュペーパーなどで鼻と口を押さえることが重要です。

※ 厚生労働省インフルエンザ啓発ツールへリンクしています。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/keihatu.html>



インフルエンザの感染を防ぐポイント...



インフルエンザ予防接種...